

野良猫からみた

山奥のまち・ひと・しごと



中原 淳 デザインエンジニア／社会プログラマー
グレイセル株式会社 代表取締役
一般社団法人メディア・アンド・クラフツ 代表理事

略歴

2001年03月 京都大学農学部 卒

2001年04月-2004年03月 (株)CSK

2002年10月-2005年10月 ATRメディア情報科学研究所 研究員

2002年04月-2006年03月 情報科学芸術大学院大学 卒

2006年04月-2008年12月 NTT InterCommunication Center 研究員

2008年09月-2009年03月 千葉商科大学政策情報学部 非常勤講師

2006年09月-2012年12月 アイティア株式会社 共同創業者 CTO





山奥の人々について

根尾小学校保護者にみる職能

土木建築	8
公務員・団体職員	4
農業	2
その他	2
不明	2

土木建築＋公務員・団体職員の割合

$$12/16 = 75\%$$



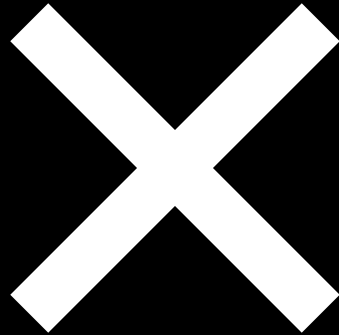






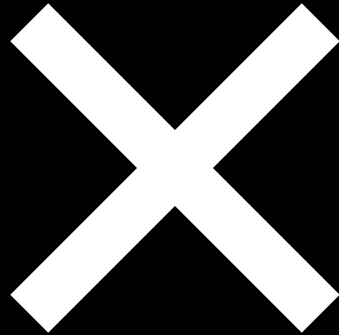














GIDS









で、提案したいこと

山奥（中原の近所）

「若者ほしい。仕事ある。」 *統計資料より確実

東京圏

「仕事ないよね。」 *統計資料より確実

=> ミスマッチの解消

中原の仮説

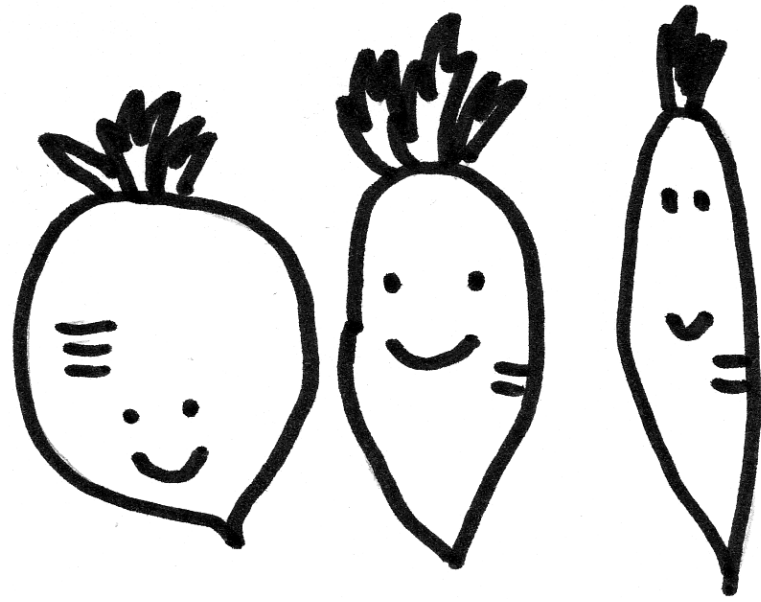
山奥（中原の近所）

「俺らが意思決定するから、メンドクサイ肉体作業だけやってくれるボランティア作業員の若者いないかな？それかバイトで。地域の一員なんだから、消防とか村仕事とかちゃんとやるよね？あと、変なことしたらはぶるから、覚悟してね。ちゃんと言うこと聞いてくれる真面目なひと募集。」

東京圏

「せっかく大学も出て、専門性も鍛えたから、それを活かせる仕事がしたいなあ。田舎にはいろんな資源があるから、俺の専門といろんな人の知恵を集めれば、きっと新しい事業になる。ちょっと、求人見てみよう・・・。
うーん。ほぼサービス業と肉体労働かあ。俺が得意な仕事はないな。」

仮説を検証するツールがないので
ツールを作りたい。



多職能
指数

ある地域内の職能の多様性を観測する指数。
均一だと下がり、偏差があると上がる。プ
ロフェッショナル人材（リチャード・フロ
リダのクリエイティブクラス？）が、全然
いない地域が証拠としてわかる。



公共投資がどれだけその地域で実行できたか図る指数。

仮説として、土木建築の公共投資は地域内でできてるが、政策立案、企画制作、シティPRなどなど意思決定に関わるソフト事業は、地域内で実行できてない。

恒常的な、意思決定の外注化。人材がない問題の根源？

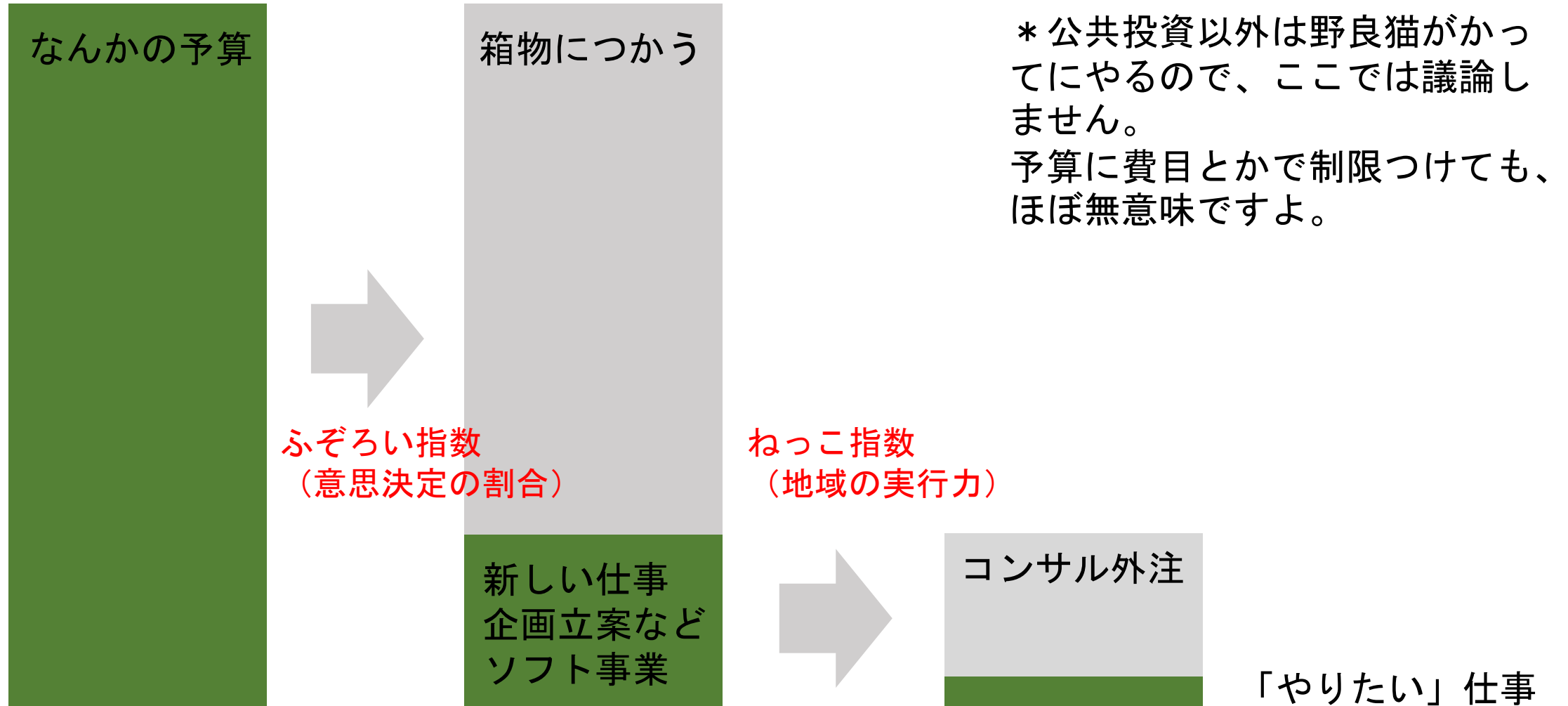
山奥の人々について 再確認

根尾小学校保護者にみる職能

土木建築	8
公務員・団体職員	4
農業	2
その他	2
不明	2

土木建築＋公務員・団体職員の割合
 $12/16 = 75\%$

公共投資を例にみる仕事の割合



卵が先か、鶏が先か？

プロフェッショナル人材がいないから、
自分たちで意思決定の仕事をししないのか？

意思決定の仕事がないから、
プロフェッショナル人材が還流しないのか？

野良猫が国政に期待すること

山奥（うちの近所）は、プロフェッショナル人材など求めている。

でも、中原は必要だと思う。

国政に求めるのは、義務付ける外圧になること。外圧になりうる確かな指標を突きつけ、公平感を作ることです。